



みのり

発行所 金光教寢屋川教会
〒572-0037 寢屋川市葛原新町 1-11
TEL 072-829-5129
Eメール koichiyasui@yahoo.co.jp

金光様

にちにち

日々

有難うございます



次の願いを受けられ、「氏子あつての神、神あつての氏子。あいよかけよで立ち行く」金光教の道が開かれて、今年で165年になります。その教祖

清澄の秋となりました。

教祖様のお祭り、生神金光

大神大祭が、教祖様の生誕記念日である9月29日(日)から、3度にわたり御本部祭場で仕えられます。当教会は、第2日の10月6日(日)13時30分から奉仕されるご祭事に参拝を予定しています。

御教えに、『此方(このかた)金光大神あって、天地金乃神のおかげを受けられるようになった。此方金光大神あって、神は世に出たのである。神からも氏子からも両方からの恩人は、此方金光大神である。金光大神の言うことにそむかぬよう、よく守って信心せよ。まさかの折には、天地金乃神と言うにおよばぬ。金光大神、助けてくれと言え、すぐにおかげを授けてやる』とあります。

教祖様は信心の苦勞により、親神(天地金乃神)様から篤い信用を受けられ、安政6年10月21日に神様から、「世間に何ぼうも難儀な氏子あり、取次助けてやってくれ」との取

様の御跡を代々教主金光様が早朝から夕刻まで一日も欠かさず、御本部広前のお結界にて取次の御用に専念され、誰もが等しくお取次を願い、頂くことができ、助かりの輪が今日まで広がってまいりました。四代教主金光様は次のように詠まれています。

世話になる

すべてに礼をいふころ

人が助かり

立ちゆくころ

歴代金光様は、このような心がいつも土台となるよう本部広前の一修行生との自覚をもって信心の稽古を進められ、教祖様の信心を継承され、おかげの道を開いて来られました。私どももまた、そうしたご姿勢に習い、信心の稽古を進め、おかげを受け、世のお役に立たせて頂きたいと念願いたしております。(教会長)

墓前祭

秋季霊祭前日、
9月21日(土)
午前10時半より
教会奥城で
墓前祭が仕え
られました。



秋季霊祭

霊祭当日の9月22日(日)は午前中から雨が降ってご祭事に支障がなければと案じておりましたが、午後2時まえには雨が止み、無事に秋季霊祭が奉仕されました。教会にご縁のある御霊様方のお道立てを祈り奉り、子孫である私たちもまた御霊様の願いに応え、信心させて頂き、身代と人間と達者の上におかげを受け、世のお役に立たせて頂きますようにと、教会長より祭詞が奏上されました。

○

「木の切り株に腰をおろして休んでも立つ時には礼を言う心になれよ」との御教え頂いております。これも親先祖のご苦勞のおかげ、天地のお恵みに守られているおかげと、何事にもお礼を心の杖に、おかげを受けて参りたいものです。

ご本部生神金光大神大祭 参拝について

10月6日(日)8時に教会を出発し、御本部祭場で13時30分より執り行われるご祭事に、この度は、教会長家族で参拝を予定いたしております。

ご本部へのお供えにつきましては10月2日までにお結界へお届けください。

当教会の生神金光大神大祭について

御本部で奉仕されます生神金光大神大祭のご比礼を仰ぎ、教主金光様のお祈りのもとに、当教会では下記のとおりお仕えさせて頂きます。繰り合わせ、参拝のおかげをこうむられますようご案内申し上げます。

記

10月27日(日)午前11時より祭典
祭典後の宣教

講師 森田 光照 先生(天満教会長)

講題 『私の好きな教祖様』

※準備の御用は、前日は午前9時より、当日は午前10時より開始。ご奉仕方、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

冊子《いぶき》原稿募集

当教会の生神金光大神大祭に向けて発行させて頂きます。おかげを頂いたこと、気づいたことなど、400字詰め原稿用紙3枚以内にまとめ、10月20日までにお届けください。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

第五教会連合会主催 第10回信心共励会の報告

9月7日（土）13時より第五教会連合会主催の信心共励会が『ここまでの信心、これからの信心』をテーマに、当教会を会場にして開催されました。

参加者は金光教教師、信徒を含めて20人。今回は講演がなく、井口与一氏（門真教会）の司会により、開会行事（お届け、ご祈念、大倉真道連合会長あいさつ、諸連絡）が行われました。

大倉先生は、教祖様に始まるお道にご縁を頂き、その土台があってここまでおかげを受けてきている私たちが、さらにこれからのお道の展開を願って信心の共励をさせて頂きたい旨、話されました。その後、当教会長先唱により神前にて『心中祈念詞』、続いてご神名、ご神号を10分間奉唱いたしました。

次は15分間の洒掃（さいそう）。まず洒掃について、川勝美智興先生は「床を拭いては床の声を聴き、柱を磨いては、柱の声を聴く……。そのように心を込めて洒掃させて頂きたい」と話され、各自思い思いに教会の庭や広前、玄関などを洒掃しました。

その後、班別のグループによる信心共励が行われました。各班5人で4班に分かれ、60分の懇談を2回、おやつを頂きながら、打ち解けた雰囲気で行い、2回目は班員を交代して行いました。それぞれ、ここまで受けてきたおかげを振り返りつつ、これからの信心をどのように進めていくかという趣旨で発表し合い、周囲にいかに信心を伝え、次の世代を育てていくかということが一番の課題と確認

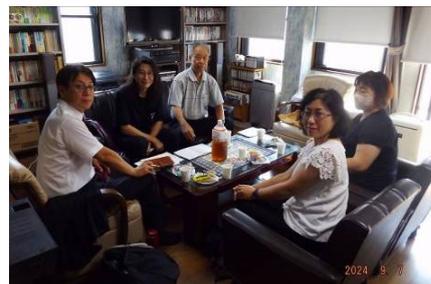
しあったことでした。

閉会行事では、第五信徒会委員長の池端繁夫氏（当教会教徒）より感話と閉会の挨拶が行われました。金光教信徒会初代委員長、河上讓一氏の話として、佐藤範雄先生（芸備教会初代教会長）は「一匹の駒が勇めば、千匹の駒が勇む」と教えられ、河上氏はその一匹の駒になることを終生目標とされたとのこと、さらに教会は大きさや信奉者の数で見るのでなく、自分の教会は日本一の教会であるとの誇りを持ち続けたいとの話を紹介されました。ここで感じられ、気づかれたことを大切にし、おかげを受けていきたいと話されました。

最後の閉会のことばで、司会の井口氏が、いろいろと心配を抱えている私たちであるが、頭で考えるよりも、心で考え（感じ）て、神様にお任せするように信心を進めたいとの感想を述べられ、無事閉会しました。



なごやかな
班別懇談会
風景





10月の予定

日	曜	教会行事	教会長、その他	日	曜	教会行事	教会長、その他
1	火	月頭祈願祭・14時		16	水		
2	水			17	木		
3	木			18	金		
4	金			19	土		
5	土			20	日	月例霊神祭 14時、 『いぶき』原稿締切	地域協働協議会 (10時)
6	日	ご本部大祭参拝 8時教会出発		21	月		
7	月			22	火		
8	火			23	水	『いぶき・みのり』 編集会議 10時40分	
9	水			24	木		
10	木			25	金		
11	金			26	土	大祭前日御用 9時～11時半	
12	土	※予定を下記の通り 変更	福祉・地域西まつり (10時～17時)	27	日	生神金光大神大祭 11時から祭典、宣教	当日御用・10時～
13	日	月例金光大神祭 14時、大祭打合せ		28	月		難波教会参列、宣教 (14時)
14	月		東堀教会宣教 (14時)	29	火		
15	火			30	水		
				31	木		

10月のご霊神様

野村貢乃霊 (平成12年10月10日)

井形アヤ子大刀自乃霊 (平成12年10月11日)

今うた姫乃霊 (昭和19年10月12日)

加藤タカ姫乃霊 (昭和11年10月14日)

加藤直治乃霊 (昭和14年10月14日)

池端勘治郎乃霊 (昭和8年10月15日)

増満直次郎乃霊 (昭和17年10月30日)

10月のお誕生

安井史佳様、松ヶ角紗良様、池端晴美様、永田芙美子様、
井形峻伍様、外菌洋一様、安井雅子様

みなさんおめでとうございます

